＜ＳＭＯ所属の方のご意見＞

No.	設問 3-18：最後に、CRA と治験業務を円滑に協働するために、心がけていることがありましたら教えてください。
1	依頼に対して、迅速に回答すること。
2	協業
3	電話をする際の時間帯（朝早すぎないようにしている）
4	被験者組み入れ時や治療期移行前は、事前に手順等の確認を徹底する。
5	可能な限り、QA として質問内容を確認する。緊急以外での電話連絡をしない。
6	思いやり
7	正確かつ迅速に対応し適宜情報共有、相談を行い試験遂行する
8	密な情報共有と相談
9	共感する心
10	言葉使い
11	スピーディなコミュニケーション
12	タイムリーな報告
13	感謝を伝える
14	信頼関係を構築できるようコミュニケーション
15	コミュニケーション
16	医療機関と依頼者の中立な立場で物事を考える
17	感じよく接すること。
18	迅速な対応
19	相手が伝えたいメッセージの根幹（根拠）を理解するように努めています。
20	新卒の方・転職された方といった医薬品開発業界の経験年数が少ない CRA 様なのだろうと数回のコミュニケーションから想像できる場合は、可能な限り回答しやすいようにご質問の内容を工夫したり、回答期限をお示しするなど、相手に合わせた配慮を行うよう心掛けております。また、お互いに気持ち良く仕事ができるように、一緒に治験成功を願う仲間という意識をもって、明るく前向きなコミュニケーションを心がけております。
21	相手の立場を理解する
22	コミュニケーション難ありと感じた場合はやりとりをメールで残す、cc に上長を入れる。
23	協働している、という意識。CRA は敵ではない。
24	急ぎ電話での確認事項もメールにて理解の齟齬がないか確認している
25	共通認識がとれているかメールや電話で確認する、やりとりは極力簡潔にする、過剰に装飾された文章のビジネスメールは送らない、他部署が関連する業務になりそうな場合は早めにメール cc などで関連部署の担当者も巻き込み共有する
26	タイムリーな情報共有及び連絡
27	お気遣い
28	経験や実務能力に合わせたサポートの実施
29	未経験のため特になし
30	発語を選ぶ。メールやお電話は、顔が見えないし雰囲気がわからないため、気遣いの一言を添える等、業務のみでぎくしゃくしないように、気を配るようにしている。
31	質問の明確化

32	丁寧な対応、対応補助依頼の場合に必要性の説明、相手の業務量を推測し一方的な依頼を避ける
33	伝えたいことを端的に伝えられるように心がけています
34	「ありがとうございます」と常に感謝の気持ちをもって接する。
35	コミュニケーションの構築
36	スケジュールや当方の認識、理解の擦り合わせなどの情報共有
37	連絡を取り合うたびにお礼を伝える
38	メール依頼時、返信時に必ず〇〇していただきありがとうございます。と感謝の意を示す。
39	円滑な情報共有
40	まめな連絡
41	電話とメールの使い分け
42	対応いただいたことに対してお礼を申し上げる
43	連絡の際には必ず感謝の意を伝える
44	問い合わせに関して回答を下さったら感謝する、メールばかりでなく電話での会話でコミュニケーションをとる、先方の事情を理解する
45	依頼されたことやメールの返信は速やかに行う。
46	施設進捗の正確な情報を CRA と共有・CRA が知りたい情報を察知して準備・誠意をもって対応。
47	信頼関係の構築
48	速やかな情報共有
49	人間関係の構築
50	丁寧な接し方を第一に心がけている。
51	お互いが薬の承認という同じゴールを目指しているということを意識している
52	こちらの都合ばかりを押し付けない。Win-win の関係でいられるようにする。
53	分かりにくい施設ルールは文書にして最初に提供するようにしている。
54	CRA のキャラクター、得意分野と苦手分野を早期把握し、そのキャラクターに合わせた対応をする。
55	お願いごとをする際にも必要な情報を適切に提供したり CRC 側でできることは最大限やり協調姿勢を示す
56	CRA さんも忙しい事は理解しているので、時間を取らせないようにしている
57	期限の順守
58	お互いの思いやり
59	お互いに声を掛け合うこと。一方的な依頼をせず、お互いの状況を確認の上相談してすすめていくこと。
60	CRA での経験を生かして、CRA が求める質が担保できるように業務を進める
61	試験全体をみて数字や進捗を管理する CRA と、施設や被験者と接して業務を行う CRC で、どうしても見えるものや優先順位が異なる場面があると感じています。 試験や施設によってその都度臨機応変な対応が求められることが多いので、患者様のため、一方で正確なデータのため、協力して解決策を模索できる関係であれるよう努めています。 お互いの立場や目的を理解しあいより円滑に試験が進められるように、同じ方向を向いて取り組めるよう意識しています。
62	CRA に対し、けんか腰だったり他人行儀だったりの CRC を時々見かけます。もし施設職員だったらそんな態度には出ないと思うので、もう少し思いやりの心で対応したほうがお互い良いのではないかと思います。
63	精神論的な話で恐縮ですが……実直にかかわること！
64	対応依頼のあった事項について、早めに丁寧に対応する
65	ゴールは同じですから、お互い様の精神で協働する姿勢を忘れない。

66	コミュニケーション、相手を考慮した回答期限を設定するように心がけている
67	試験のタイムスケジュールを共有し適宜必要時に連絡を取り合う、重要な事項は電話連絡のみとせずメール等の記録に残し互いに確認出来る状況を作る
68	メールの返信は早めに行う。
69	まだ経験が浅く CRA とのかかわりが少ないため分からない
70	都度相談することを心掛ける。
71	相手のレベルを理解する（気を付けるべきところを早く把握する)、円滑なコミュニケーションを取れるように日ごろから会話をする
72	CRA にお願いするばかりではなく、こちらも依頼を聞くようにしている
73	情報共有の徹底 院内の情報や医師の見解等を伝えることで施設での温度感について理解してもらえるようにする。医師が組み入れを急いでいるときに早めに対応をして頂きたい際は催促になってしまし申し訳ないが理由も含めて依頼するようにしている。 CRA からの依頼について可能な限り早急に対応するが、納得がいかないことについては理由等を確認し治験のデータの取り扱いに影響がでないか等も考慮した上で協議するようにしている
74	人当たり良く接すること
75	迅速な報連相
76	CRA さんの要望を汲み取り、相手に寄り添った対応を心がけている
77	低姿勢
78	施設で起きた問題や PI、SI の試験に対する考え等の共有
79	報告をきちんと行う
80	速やかな回答
81	本音を伝えられる信頼構築が一番かと思います
82	お互いの立場を理解すること
83	相手の状況や立場に配慮する。思い遣りや感謝の気持ちを忘れない
84	信頼関係の構築を第一に考えている。お互い依頼事項について、時には譲歩するようにしている。
85	高圧的な態度にならない(常にやってもらったことに感謝するようにしています)
86	コミュニケーションを大切にしている。
87	Web 対応が増えたせいか、すべてにおいて「手順書を見てほしい」「Help desk に問い合わせてほしい」で済ませている。もう少し現場の状況を把握して詳細の説明を迅速にしてほしい。
88	時間帯を考慮し、簡潔的に連絡をすること
89	迅速な情報共有
90	細かい情報共有や、電話内容をメールに残すなど、お互いが気持ちよく働くために相手の立場に立った対応を行うこと
91	感謝の気持ちを伝える
92	コミュニケーション
93	自身が新人の頃に、担当 CRA 様に色々と教えていただいたことを思い出し、お互い様の精神でできるだけ怒らないようにしている。
94	近年特に CRA の質の差が大きく情報や認識が誤っていることが多い。正確な情報提供もなく、業務に支障がでることも少なくない。相手に期待しないこと。全面的に信用はしないこと。認識に齟齬がないか確認すること。

95	タイムリーな情報共有
96	あえて心がけていることはない
97	相互理解が一番大事だと思います！あとは感謝の心。
98	施設スタッフでないと分からない内容を CRA に頼らない。メールの返事は即時に対応する。
99	コミュニケーション
100	精神的・物理的な業務負担への理解を示すこと
101	極力かかわらないようにしている。
102	日ごろより、相手の立場になって考えるようにしている
103	謝罪と御礼の言葉は明確にして伝える。
104	業務を遂行することに加え、御礼を言える場面逃さず感謝を伝える。
105	相手を立場を考え、思いやりの心を忘れずに接するようにしている。また業務上の役割分担は必要だが、過度に線引きはせず、出来ることは手助けするようにしている。
106	相手の理解度の確認
107	問い合わせに対して事例を提示して、お互いに理解しやすい・認識の違いが発生しないように心がけている。 CRA さんの性格をなんとなく理解して、A さんにはこの工夫、B さんにはこの工夫して、円滑に対応できるようにしている。
108	迅速な対応
109	コミュニケーションを取り、信頼関係を築いていく
110	共に同じ目的・目標に向かって仕事をしているビジネスパートナーであるため、常に良好な関係を築きながら業務を進めることを大切にしている。お互いの罪や責任の擦り付け合いなどを決してしてはいけない。CRA へ常に感謝の気持ちを伝える。
111	友好的な話し方をすることで、お互いがコミュニケーションを取りやすくなる
112	コミュニケーション
113	自分の考えを伝え、自分の価値観・思考パターンを知ってもらう。CRA の価値観・思考パターンも把握につとめる
114	思いやりをもったコミュニケーション
115	コミュニケーションをよくとり、理不尽なことがあっても冷静さを欠くことはせず、常に冷静に対応する。
116	お互い気持ちよく働けるよう配慮。
117	試験の目的を明確にする
118	信頼関係
119	悪態をつかない
120	お互いするべき仕事をしているので、心がけていることはありません。
121	お互いの立場を理解し協力する事が大切だと思う。
122	早めに対応すること。出来ない場合にどのくらいかかるかの連絡や、いつまでにしたらよいかの確認。
123	メールだけでなく、電話でも直接話して友好的な関係を構築する（協力関係を築きやすくする）
124	コミュニケーションを図る
125	あまりに CRA の質が悪く（平気で嘘をつく、間違った指摘、プロトコルに記載のない業務の指示、CRA 見解でのデータ修正依頼等）、試験の実施に大きな影響を与える要因となっており非常に困惑しています。施設でのデータありきの治験であることを再認識いただくなど、教育体制を見直していただきたいです。
126	立場が違うため、交渉することも多いですが、感謝の心は忘れずに持ち続けたいと思っています。

127	連絡する時間帯を気にして連絡をしている
128	細かな情報共有
129	迅速な情報共有
130	お礼を伝える
131	協力体制
132	感謝の意を伝える
133	相手が求めている事には迅速に対応する。こちらも誠意ある対応を心がけていると自然と上手く進むことが多い気がします。 またこまめな相談や進捗確認、相手を思いやる言葉がけ（CRA の皆さんも CRO 所属の場合は依頼者との板挟みになって御苦労・気苦労も多いと思うので）をするように意識しています。目標は一緒なので、気持ちを統一して同じ目標に向かっていきたいと思っています。
134	お互いの仕事を円滑に進めるため、感謝の気持ちを持つ
135	・メールの返信はなるべく早くする。・メールの本文は必ず感謝の一言から始める。・電話やメールをする際にクッション言葉を必ず入れる。
136	丁寧な対応
137	新たな情報はタイムリーに提供するようにしている
138	CRC は CRA おサポートがないと業務ができないと考えていますので、常日頃より感謝の気持ちを伝えています。
139	CRA は最終目的を達成するための一番近いチームメンバーと思っています
140	難しい依頼をされた際に「無理」「できない」と一蹴しない。CRA さんがミスをした際に責めない。
141	迅速な対応と相手への感謝の気持ちを大切にしています。
142	馴れ馴れしい態度はとらない
143	相手を萎縮させないような、気軽に電話連絡をもらえるような雰囲気作り。
144	話がかみ合わない CRA さんには、メールでやり取りの記録を残し、お互いの上司など他者も状況や経緯が把握できるようにしている。
145	思いやり、協力体制とコミュニケーション
146	タイムリーなレスポンスを心掛けています。
147	CRA に頼りすぎることがないよう、自身もプロトコールの理解やマニュアルの駆使、事前の確認を徹底している。しかし、自分の解釈だけで治験業務を進めていくのではなく、しっかりと確認も取り、逸脱等を防ぐようにしている。
148	円滑に進めるためにどのように業務を行っていくかを相談
149	業務のすべてを理解してはおりませんが、「自分が相手の立場だったらどうしてほしいか」を考え、行動するようにしています。
150	会社は違いますが、お互いが気持ちよく仕事をすることができるよう気を付けています。
151	疑問に感じたことを置いておかないこと
152	丁寧なコミュニケーション
153	思いやりの気持ち
154	電話や対面等の口頭でやり取りした後には必ずメールで御礼とともに話した内容を送り、理解の齟齬がないか確認する。時間が経過してからの食い違いを残すために重要なこと（費用に関することやプロトコールの解釈等）は必ず文章として残す。
155	タイムリーな回答

156	経験の浅いCRAさんの業務不足があっても、自身の新人の頃を思い出し対応している。
157	CRAさんからの回答が迅速に頂きたいので、こちらからの返信は可能な限り早く対応している。
158	丁寧な対応
159	やりとりは記録に必ず残すこと。
160	施設側の状況の速やかな連絡
161	お互いの業務が円滑に進むような思いやり
162	心遣い
163	自身のメールのレスは即日するよう心がけております。最近はリモートSDVを使用しているため、直接お会いする機会も少なく、メールだと中々ニュアンスも伝わりにくいこともあるので、あえて電話でのやり取りも多めにしております。
164	速やかかつ正確な対応
165	コミュニケーションをとること
166	各CRAに応じて接し方や確認の仕方を工夫している。
167	メールで誤解を生じぬよう時には電話も使って共通理解を確認する
168	信頼関係を結ぶことを心がけています。人と人とのお仕事なので。
169	思いやりを重視する
170	経験年数や経歴も違うため、理解しにくいこともあるが、高い品質をもって早期に組み入れることが治験成功のカギなので、お互いの認識に齟齬がないか確認しながら、また両者にとって業務がやりやすいよう考えて働くようにしている
171	報告・連絡はこまめに実施し、重要な内容については必ず文書で残す。電話内容もなるべく後でメールをして記録に残す。言った言わない問題を回避する。
172	言動行動に気をつけるようにしている
173	依頼事項はタイムリーに対応する。
174	メールで、何度も往復しないような書き方をする等、お互いが効率的に仕事が出来るように心がけている。
175	メールや電話での丁寧な対応
176	良好なコミュニケーションをとる。
177	コミュニケーション
178	お互いを尊重する、タイムリーな行動を心掛ける、フォローできることはお互いフォローしあう。
179	互いを思いやる気持ち
180	メールの文章のみでは伝わらない事もあるため、メール上で伝えるのが難しい事等は電話や対面の際等にもお伝えするようにしています。
181	メール等で依頼を受けたら、３営業日以内に対応状況を必ず返信。対応できていなくてもいつまでになら対応できるかを報告している
182	目的達成に向けて、施設スタッフ含め一つのチームとして動いている気持ち。
183	互いを思いやる配慮、目的・実施方法・考えの共有
184	極力メールは早めに返信
185	モニターに確認、考える時間を与えるために、CRCが対応することは早めに対応、情報提供していること
186	施設の状況(候補者の有無や医師からの疑義等)を速やかに共有し認識の齟齬が発生しないように心がけています。
187	依頼内容に対する迅速な対応、メールなどへの返事等
188	情報共有

189	お互い、莫大な業務を抱えている事はわかっているため、なるべく負担のないように CRC がやるべき業務は実施している。
190	癒着などでは無く、良い意味で友好的でいられるようにと心掛けている。 お互いは対等であり、可も不可も指摘し合えるという共通の意識を持てることが理想。
191	思いやりのある対応をすること
192	感謝を伝える
193	臨機応変な連絡方法を取る
194	信頼関係の構築、タイムリーなレスポンス
195	打合せ事項をメールや文章で残す
196	依頼されたことは期限を守る
197	施設からの要望が多いため、なるべく CRC からの要望はしない
198	質問の際は、可能な限り回答期間にゆとりをもたせて連絡する。
199	お互いの理解のすれ違いを防ぐために重要事項は電話で確認し、メールで記録を残す
200	お互いの状況を把握する想像量が大切かなと思いました。
201	院内の状況を伝える。
202	丁寧なコミュニケーションを心がけております。
203	一方的にこちらの都合を押し付けない。情報共有を密に取り、お互いの状況を穏やかに確認し合うようにすること。
204	電話や対面でのコミュニケーション時にできるだけ丁寧に接する
205	信頼関係の構築
206	信頼関係を築くこと
207	感謝の気持ちを忘れずに！
208	情報共有
209	信頼関係
210	こまめな連絡と丁寧な対応
211	その他特にありません
212	認識の齟齬がないように気になったことはメールで適宜確認を行っている。
213	治験を実施する上で助け合うことが必要という意識を心がけています。
214	お互い様の気持ちをもった思いやりの精神
215	お互いの依頼事項をタイムリーに実施する
216	情報共有を円滑に行う。
217	自分の業務範囲を明確にし、業務範囲外は依頼しないようにしている。
218	適切な情報共有
219	冷静に対応する
220	感謝の気持ちを持ちながら関わるように心がけている。
221	特記事項なし
222	相手の立場を慮る
223	思いやりのある行動、言葉遣い
224	細やかな報告・連絡・相談
225	CRA の方々に助けていただいていることが非常に多いため、日々感謝しかありません。
226	円滑なコミュニケーション

227	コミュニケーションを円滑にする。
228	人となりをしろうとすること。世間話。
229	速やかな状況共有
230	こちらが要望する事については理由を伝えるようにして、応え兼ねるというお返事の場合はその理由を教えてもらうなど、お互いが納得出来る落としどころを探りながら進めています。
231	自分の理解がそれで合っているか確認している
232	施設・PI の要望と、依頼者・CRA の要望を把握し、円滑に組入れが進むように調整している。
233	お互い様
234	相手が必要な情報をくみ取って伝えること、迅速な対応
235	要望にはできるだけ沿うように対応する。施設からの無理な要望を伝える場合は、相手が不快にならないように伝え方に気を付ける。
236	好意的な態度
237	先生からの要望等にて、お願いすることが多いため、無理のない範囲でして頂きたいなどという風に伝えています。
238	情報共有
239	コミュニケーションをとることや協議の内容はメール等記録に残すこと。
240	相手の立場に立って行動する。
241	各々の役割、体制に考慮し歩み寄りの姿勢で協働していく
242	CRC は CRA の業務内容を、CRA は CRC の業務内容を理解、想像できていれば、どのタイミングでどのようにサポート、情報提供をすればよいか、お互いに分かり易くなると思います。現在、同じグループ会社内でも、このような研修会を定期的に行えるようにしています。
243	できる限り迅速に対応する
244	相手の立場いなって考え行動する。
245	進捗の共有
246	業務のみのコミュニケーションだけではなく、少し雑談的な話も含めて話すこと
247	依頼者側の要望に関してできるかぎり意向に沿うように努力することで信頼関係を築く
248	積極的にコミュニケーションをとる
249	自分の業務を全うする
250	持ちつ持たれつ
251	コミュニケーションの構築
252	お互いの業務量の勘案
253	論理的に説明する、スピーディーな対応、正確な対応
254	良好な関係を築く
255	情報共有
256	感謝
257	横柄な態度は取らない
258	コミュニケーションを取ったり、一方的な意見の押し付けをしないように心がけています。
259	タイムリーな回答
260	タイムリーに連絡を取り合い、情報共有をまめに行うようにして状況を把握してもらうようにしている。治験の進行で問題になるのが、大体施設や医師が受け入れがたい臨床とかけ離れた依頼者独自のルールである。依頼者からの無理難題を如何にしてやりこなすか常に相談をしながら進めている。

261	どんな人でもとにかく迅速に対応する。
262	CRA に協力してもらうばかりでなく、CRC 側で CRA 業務の円滑化に協力できることは協力的にする。
263	こまめな対応、迅速な回答
264	施設側に対する配慮や気遣いを感じた時は、メールの返信などでお礼のメッセージを伝えるようにしています。
265	疑問点を明確に説明する。今対応中であり今すぐに回答が必要な場合その旨を伝える。
266	お互い様
267	電話で確認した内容も後で必ずメールで連絡する。 お互いが無理のない範囲で対応できる方法の模索。（ログの作成期限、資料提供期限など）
268	思いやり
269	相手への尊敬・思いやり、施設・PI の考え、SMO または個人の考え等責任の所在を明らかにしながらコミュニケーションをとる。
270	感謝の気持ちを述べること、持ちつ持たれつの精神で相手に嫌な思いをさせないように話すこと。たまには語気がやや強くなることはお互いにあり得ることですが、きちんとその場で和解すること。日ごろからよくコミュニケーションをとること。
271	感謝の言葉を伝える。できるだけタイムリーに依頼事項を対応する
272	感謝の気持ちを明確に
273	不明点がある場合は早期に解決する 特にエントリー期間は施設の状況を積極的に共有する 先生からの意見は素直に伝える
274	疑義事項が生じた際には速やかに解決するように心がけている
275	お互いの思いやりと円滑なコミュニケーション
276	対面で話す機会がなくなったので、電話で話す時間。施設の事情や先生の生の声など、メールでは汲み取ることが難しい部分の補足の説明。
277	施設特有の運用について、予めお知らせする
278	進捗推進と品質で感謝を伝える。
279	スケジュール感を逆算した早めの回答、対応
280	思いやり。
281	人と人であるということを意識する
282	急な依頼事項など、突発的な依頼には、速やかに対応するようにしている。 「お互い様」を心掛けている。
283	お互いの業務を理解し、共同関係にあると意識を持って対応しています。
284	相手のことを考える
285	「お互いに助け合う」という気持ちを持って接している。
286	聞く前に PRT や QA にないか確認してから聞く。
287	敵ではなく味方だと思っています。
288	仕事のパートナーであり、円滑な治験運営になるよう、初めての対応からコミュニケーションを取るようにしている
289	CRA のキャラクターを知り、どのようなコミュニケーションが良いか考える。お礼を言う。
290	相手の立場を尊重する
291	CRA から連絡が来た際には優先順位をつけて迅速に対応できるようにしている。

292	感情的にならない、感謝の言葉を伝える、施設特有のルールは事前に伝える
293	SMO の業務範囲と CRA の業務範囲をきちんと線引きした上で役割分担している。
294	CRA 側（特に CRO)の依頼が不必要と思われることが多く、無駄に施設が対応することで施設側の試験に対する印象も悪くなるため、その必要性について理由を必ず確認する様にしている。 逆もあり、施設の依頼を CRA（特に CRO)は断ることがあり、断られると施設として実施できないため、理由を説明し理解していただくことを行っている。
295	問題点や疑問点に対する迅速な対応
296	同じ目的を持って業務していることを意識している。 ルールの中で最大限、相手の要望に沿うようにしている。
297	情報共有
298	CRC 側の主張と CRA 側の主張の妥協点を見つける
299	依頼された事項には期限内のなるべく早めに対応し報告・連絡・相談を密にすること、して頂いた事には感謝を伝えること
300	積極的にコミュニケーションを図ること。
301	誠意持って、やるべき仕事を迅速に正確にする努力
302	期限内での速やかな対応。対応が遅れている場合は早めに進捗状況を報告し相手が困ることのないように心がけている。
303	良好なコミュニケーション
304	感謝の気持ちを忘れないこと。
305	信頼される業務（成果）を実施し次の案件もリピート依頼いただけるよう心がけている
306	程よい距離感。良い時は感謝の気持ちを伝える。
307	CRA さんが困らないように、日々対応すること
308	電話で確認したことをメールで改めて確認し、認識の差異や誤解を避ける。また、記録に残し情報の信憑性や前後での発言や考えがズレないようにする。
309	CRA の協力があってこそ進めていることを言葉で表現し、常にお礼を言っている。
310	会話を多く持ちコミュニケーションと取る。代行できる業務は協力する。
311	問題が発生した時、速やかに情報共有をし、問題意識と統一すること、また治験担当医師などが気にしている点など、日常会話で情報共有した方がいい…と思われることについて情報提供をするように心掛けている。
312	依頼された事項には早く対応する。日頃から報告を心掛ける。
313	迅速な対応
314	同じ目的に向かい、相手の立場を想像しお互いに対応し合う、協力する気持ちを持つ事。
315	迅速な回答、意思表示
316	情報の共有
317	節度のあるコミュニケーション、必要に応じて施設や CRC 自身の都合も伝えて理解していただく。反対に CRA の状況も察して思いやりのある態度で接するようにしている。
318	こちらの意見だけを強調せず、相手の要望にも沿えるよう努力する
319	情報の共有
320	お互いを思いやる
321	コミュニケーションをとる
322	楽しくコミュニケーションをとる

323	まだ主だってCRAさんと協働することがないため、わかりません
324	質の高い治験データを作成する。
325	コミュニケーション
326	コミュニケーションを密にとる。
327	感情的にならないよう冷静にCRAへの敬意も忘れずに接している。
328	いつでも丁寧な対応を心掛ける。
329	CRAの業務内容の理解、迅速な返信、感謝の気持ち
330	コミュニケーションを通じた早期関係性の構築、施設にとって有益ではない進捗促進策の正直な伝達
331	不明な点は不明なままにしないで、納得できるまで確認する。
332	明確な説明、依頼事項の優先順位の提示、電話内容をメールに明文化すること
333	急遽電話で確認した内容はあとでメールにて全関係者に共有するようにしている
334	電話の際に、日頃の感謝を伝えるようにしている。
335	感謝の気持ち
336	疑義事項等をメールで残すこと。
337	どんな場面であっても丁寧な対応を心がける
338	迅速な対応、感謝の気持ちを伝える
339	相手の状況や事情を理解した上で意見したり、お願いをするように心がけています。CRCだからCRAだからでなくお互いに気持ち良く仕事ができるような関係性が築くことを念頭においています。
340	コミュニケーションエラーを減らすように理解度を確認する
341	メールでのやりとりがメインですが、迅速に対応すること、不快にさせないような表現に留意しています。
342	留意事項や今後の対応スケジュールについて十分に情報共有を行う、
343	電話連絡は急用の時のみとし、その他はメールにて連絡をとっている。
344	感謝の言葉を伝える。
345	CRA は若いひとが多く概ね融通が利かないため、施設の状況を理解してもらえるような説明を心がけている。また、CRAの個人の判断・責任で行動するのではなくチームで考察するように依頼している。
346	質問をさせていただくときには、いつまでに回答が欲しいか連絡するようにする。わかりやすいメールの作成を心掛ける。
347	CRCとCRAの業務分担を考えた言動と思いやり。
348	いつも忙しい中こちらの要望に応えてくださるので、感謝をたくさん伝えています。
349	ここ最近のCRAは医療機関ではなく依頼者のことばかりに目を向けている方が多いように思います。また、コロナ禍で横の繋がりが減ってしまったのか、他施設での情報を持っていないケースが多いです。CRAとしてどう動くべきがどう考えるべきかを（失礼のない程度に）指導させていただくことが増えました。
350	とにかくより良い関係を築くこと
351	特に緊急対応時は双方の意思疎通のトラブルが生じやすいため、普段より一層タイムリーかつこまめに、電話やメール、ショートメッセージも用いて情報共有を行うように注意している。
352	頼ってしまう場面もあるが、悩んでいる部分の明確化や、対処方法の提案やその根拠説明、複数案提示など、協議できるようにこころがけている。その他のコミュニケーションも時には必要と思っている。
353	情報共有
354	CRA経験の浅い担当者が多く、可能な限り速やかに、かつ円滑にお互いの業務が進むよう声かけを実施しすり合わせを行い、要望/意見を取り入れに心がけている。
355	お互いの業務範囲の確認

356	急ぎではないが回答期限がある問い合わせ等は、メールの件名にも期限を記載する等で相手に伝わりやすいメールを作成するよう心掛けている。
357	メールだけではなく必要な際には電話での内容補足及び感謝をお伝えする。短いコミュニケーションを多く取ることで信頼関係を構築する。
358	信頼関係を崩すような行動（期限を守らない、嘘をつく、失敗を隠すなど）をしないように心掛けています。
359	出来るだけお互いの工数を増やさないようなコミュニケーション
360	お互いの立場を理解した上で、尊重しながら業務を実施する。
361	コミュニケーションをよくとる様にする
362	感謝を伝える。施設側の意向を明確に伝える。
363	担当者のキャラクターにもよるが、困ったら頼って、お互いが相談しやすい信頼関係を築くようにしている。
364	人間関係の構築、お互いへの感謝の気持ちを表す
365	コミュニケーション
366	CRA の状況を少し想像しながらコミュニケーションをとること。
367	特別ありません。CRA 側が患者さんの事を考えてくれたり、CRC に寄り添ってくれると嬉しいです。
368	信頼関係の構築
369	コミュニケーションにより、どこまで理解されたかの確認も実施している。
370	相手への思いやり、配慮
371	依頼事項については、早急に対応できるよう心掛けている。
372	タイムリーな共有
373	不明点があれば随時質問し、逸脱を起こさないようにしている。 また、逸脱となった場合でも誤魔化したりせず、正直に報告している。
374	CRA の性格に合わせた対応
375	こちらの要望を具体的にお伝えするようにしています。例えば、急な依頼の場合はメールに加えて電話もしてほしい等々。
376	迅速な対応
377	SDV などで直接対面する機会がある時は、業務の話だけではなくその他の話も積極的に行い、相談しやすい関係を築けるようにしている
378	タイムリーに対応している
379	認識を統一すること、御礼や謝罪を誠実に伝えること
380	コミュニケーション
381	EDC の Page 変更等、グローバル試験の場合、CRC が先に気づくこともあるため、情報共有はこちらからも発信するようにしています（事例共有なども）。今まで沢山 CRA の方に助けていただいた事が本当に多かったのですが、最近は若手の方で、相手の立場にたって物事を考えたり出来ない・柔軟性のある対応が出来ない若い方が多くなったと感じています。若い方の場合、こちらが被験者対応中と伝えても、電話で一方的に伝えることをやめず、今すぐの回答を求められたり、医療機関スタッフへも言葉遣いが敬語では無かったりする場合や時として態度が横柄な場合もあり困ることがあります。コロナ禍で現地での教育が難しい面もあると感じておりますが、この点が少し改善すれば業務効率にも繋がりますし、お互い気持ちよく仕事ができるのではないかと感じています。

382	丸投げはせずに、出来るところはやってから確認・依頼する。 分からなところは、自己解釈せずに確認する。 急ぎ以外は、メールでやり取りする。 メールでやり取りをして、記録を残す。
383	双方のあるべき姿を理解した上で、施設での手順や事情もふまえて、誤解や齟齬が生じないように適切にコミュニケーションをとる
384	謙虚に建設的に。相手の立場に立って考えること。
385	依頼事項、問い合わせ、等 CRC 側に振られた内容に対して回答を明確にして返す
386	挨拶（御礼や謝罪等）は疎かにならないように心がけている。
387	コミュニケーションを図るように意識しています。
388	迅速な対応
389	コミュニケーション能力
390	丁寧な対応
391	依頼された対応については可能な限り断らずに対応するようにしています。 プロトコルなどの解釈に違いがないように、確認を怠らないようにしています。
392	コミュニケーション
393	思いやり。
394	コミュニケーションをしっかりとる
395	コミュニケーションをとる
396	仕事の話だけでなく、ちょっとした関係ない事などもはなす。
397	メールをすぐに返信する、共有が必要な事案は早急に連絡する等を心掛けている。
398	感謝を伝える。
399	手順書をしっかり確認する、自分で解決できることは積極的に実施することを心掛けている。
400	タイムリーな情報共有
401	情報の共有は心がけており、特に、候補者情報や組み入れ予定スケジュール等はタイムリーに行っている。 良好なコミュニケーションは問題解決にもつながると思うため、時には歩み寄り協力し合えるよう心掛けている
402	立上げ時、最初の組み入れ時は小まめに連絡をとりあっています。コミュニケーションが一番大事だと思います。
403	お互いのことを理解し、コミュニケーションをとる
404	お互いの立場を理解し、依頼を押し付けるのではなく、両者で落とし所を模索することを心がけている。
405	お互いの業務内容の理解
406	良い薬を早く世の中に送り出すという共通の目的で協働していることを常に意識し、尊重して対応する様にしています。
407	緊急時以外にも必要に応じて電話を使用して直接コミュニケーションをとること。
408	CRC/施設側の責務を全うする
409	優先順位を考えて仕事を行い、お待たせする場合は、メールでいつ頃対応出来ると言った連絡をするようにし、お互いの業務が円滑に行えるように気を付けている。
410	迅速丁寧な対応
411	まだ業務を覚えている段階なのでそこまで気をまわせておりません。きちんとコミュニケーションは取ろうと思っています。

412	特記事項無し
413	質問事項に対しての回答が十分でなくても、一旦はお礼を言う。あらためて別の角度から確認や質問を行う。
414	モニターさんと一緒になって治験を進めていくという思いを持ち、コミュニケーションを円滑に図ること。
415	コミュニケーション
416	お問い合わせに対する回答や確認等を当たり前にやってもらえるものと捉えずに、なるべく余裕を持った依頼を心掛け、感謝の気持ちを忘れない。
417	電話や対話で信頼関係を構築するよう努める、御礼と謝罪は迅速に行う
418	治験はチームで行うということを念頭におく
419	メールや電話の時間帯の配慮
420	日々の治験業務を抜かりなく遂行する
421	依頼に対して早めに対応しようと心がけている
422	コミュニケーション
423	迅速な対応とフィードバック
424	適宜情報共有を行うようにする。
425	CRA が対応すべきことでも、対応いただいたらお礼を伝えること
426	相手への気配り
427	常に感謝の気持ちをもって、連携をとる
428	連絡する際に、要件と期限をわかりやすく連絡し、また依頼事項の根拠についても考えるようにしている
429	わかりやすい言葉を使用し、相手が理解できるような文章を心掛けています。
430	CRA の業務範囲は多岐に渡るため、SMO の小さな心掛けで効率化できることは実践したいと考える一方で、その分 CRC に対する内容に工数をかけていただければと考える。
431	コミュニケーション
432	迅速な回答、対応。言葉の伝え方に気を配る。
433	迅速な対応
434	質問は明確にする。
435	感謝を伝えて業務を行う
436	CRA は通常診療での様子、院内の流れなどは分からないと思うので、実施方法の相談をする場合はできる限り施設での流れやルールを説明するように心がけている。
437	急ぎの要件以外はメールで対応する。メールの返信を 3 営業日以内に行い、それ以上遅れる場合は、その旨、返信する。
438	日々、コミュニケーションを取るようにしている
439	出来る限りメールの返信を早めにしている。クエリを早くクローズする。
440	コミュニケーションを密に行う事
441	密に連絡を取るようにしています。
442	なんでも話しやすい雰囲気作り
443	お互い様と思って何事も接する
444	距離感
445	コミュニケーション
446	事前の確認、状況共有、電話対応は後でメールをし一連の経緯・結果を残す
447	施設でやるべきことは施設で実施する。

448	困った時の助け合い。最近の CRA は助けてくれない。
449	こまめな連絡と、正確な情報の共有
450	気になった点を事前に確認していくこと
451	円滑に治験が進むように CRC と CRA がコミュニケーションを積極的にとり、不明な点や改善点があった場合は、速やかに報告する。
452	自分も人、相手も人なのである程度のミスなどは覚悟の上で業務を行う。そのミスが起こりうるかもしれないという想定の上、スケジューリングやリマインドなどを行うようにしている。
453	CRC も他試験の業務や施設側の調整等 CRA の目に見えない業務に時間を使っているのと同じように CRA も各部署との調整に時間がかかること、イレギュラー対応に手間や労力がかかることを理解し対応すること。
454	良好なコミュニケーションを築くことで、些細な疑義事項でも確認を取りやすい関係値にしておく。
455	連絡、回答、相談は早く密に
456	情報共有
457	言葉使いを丁寧にする。誤認があった際、相手を責めない、相手のせいにしない。
458	施設環境、PI、SI との関係性を理解いただき、その施設に合った対応方法で進めていくこと。
459	自分の考えを押し付けるのではなく、相談して一緒に作り上げていくこと
460	細かな情報共有
461	相手にも都合や立場があることを認識したうえで対応する。
462	CRC が行う業務はなるべく早く対応するよう心がけ、もし業務が立て込んで対応が遅くなる場合はその旨を伝える。
463	話やすい関係性を保てるようにすること。
464	実際に話す
465	簡潔明瞭な説明を行うこと
466	CRA のキャラクターによって、こちらも態度を変えて対応している
467	施設ルール・調整が必要な部署を事前に伝えたり、特に立ち上げの時期はざっくりしていても今後のイベントスケジュール(部署への説明会や、SUM までにやること、等)を共有しておく。ちょっとしたことは SMS を使う。(急ぎのメールをしたから見てほしい、など。) とにかく即レス。(メール読んだまま放置、は絶対しない。)
468	自分の欲しい情報だけを欲しがるのではなく、ＣＲＡが必要とする情報も十分に提供する。give and take！
469	疑問な事項がある場合、タイムリーに確認を行うように心掛けている。
470	お互いの業務や対応について敬意を払うこと
471	情報の共有
472	感じよく対応し、忙しさや気分で対応を変えない。可能な限り依頼や相談に No と言わない。
473	期日を守る
474	お互いに問い合わせ事項に関してはタイムリーに対応すること。
475	治験の候補者様や被験者様の情報共有を密にする
476	適切な気遣い
477	良好なコミュニケーション
478	念のための確認を少なくし、できるだけ簡潔な内容のメールを送る
479	同じ目標に向かって信頼関係を構築していく
480	ルールに縛られすぎず、状況によってはお互いを思いやってフレキシブルに対応する努力をする
481	相手の立場、能力の理解に合わせた相談をするようにしています。

482	明確に受け答えできるようにしている
483	コミュニケーションをとる
484	明確につたえる、
485	円滑なコミュニケーション
486	正確かつ分かりやすい説明
487	最近、CRA 人材が減っているような気がしますが、10 年前の CRA さんはとてもしっかりしており、頼れる存在でした。CRA の教育も工夫する必要があると存じます。
488	早めの回答。別件ですが医師へのメールの内容の確認や文書を CRC に確認依頼が来ることが多くなってきました。その辺りは社内で検討いただきたい。
489	情報共有の徹底。
490	医療機関との橋渡し
491	相手の状況を理解した上でこちらの意見や要望を伝え、協力しながら治験業務を進めていく
492	信頼関係の構築
493	依頼されたことに対して、早急に対応する。また、EDC 入力や簡潔に CRC で行った業務を報告し CRA の業務を支援する。
494	感謝の意を述べる
495	信頼関係構築、コミュニケーション
496	治験実施における懸念事項を事前に共有し、早期解決を心がけている。
497	症例促進、データの正確性のために相談、情報共有させてもらっている
498	お互いの責務や業務内容を理解したうえで、それが円滑に進むようサポートし合う協働体制づくり
499	CRC と CRA は敵ではなく、お互いがプラスとなり信頼関係を構築しともに実施していくことが治験成功の鍵になると感じているので、医師と患者さんの間でうまく橋渡しができるよう前もってＣＲＡに確認するようにしている。その事により、CRA 様の業務を増やしてしまっている可能性はあるかもしれません。
500	SDV の時など対面で話せるときに積極的に会話し何でも相談できるような環境を作る。
501	譲り合いの精神、思いやり
502	思いやりのあるコミュニケーション
503	感謝の気持ちを持つ
504	適切なコミュニケーションを心掛けています
505	コミュニケーション
506	スケジュールやタイムラインを共有し、目標を立てて業務を行っていくこと。
507	何か疑問に思うことがあればすぐに相談する
508	パートナーとして協働すること、意見を交わし、情報共有を欠かさない事。相手を尊重する事。お互いに、施設と依頼者を支える重要な車輪だと考えています。
509	コミュニケーション
510	期限内の対応。信頼関係の構築。
511	時間は有限のため、考えすぎず、聞いて解決できるものは、積極的に聞きに行く。
512	丁寧な受け答え
513	まだ経験が浅いため CRA さんと積極的に関わる場面は少ないが、コミュニケーションをしっかりとり行き違いが少なくなるように協力していきたい。
514	コミュニケーションを通して信頼関係を築く。お互いの業務を思いやり、協力する。
515	不明点があったとしても溜めておかずに、早めの回答を意識している。

516	相手の立場や働き方を理解しつつ、施設サイドは患者さん目線で動いていること、机上の空論のようなプロトコルやプロセスにならないよう、CRA さんにも、自分や家族が被験者さんだったらと想像してもらって、相談事を考えてもらえるように説明するようにはしています。
517	迅速な対応
518	院内での被験者対応状態の共有。
519	電話はすぐに出るまたは折り返す。可能な限り、依頼者の要求等を確認し対応する。
520	相手に敬意をもって接する
521	感謝の気持ち、施設情報の共有
522	施設の状況、情報を理解してもらえる説明と情報共有をこころがけ、依頼者、試験の状況も情報共有したいことを明確に伝えること。
523	立ち上げ時の信頼関係構築、プロセスの構築、それぞれの役割分担を認識した上でのコミュニケーション
524	CRC としての業務を迅速かつ正確に行いそのうえでこちらの要望を伝える。ＣＡＲからの依頼も可能な範囲で対応する（無理なことは無理と伝える)。
525	相手を尊重して対応する
526	相手を尊重した上でコミュニケーションを図る
527	感謝の気持ち
528	審議事項の確認など審議依頼漏れがないかの確認連絡など
529	施設状況を加味し、業務手順を構築する。コミュニケーションをとる。
530	ギブアンドテイク
531	緊急の時以外電話はしない。SMS の活用。
532	迅速な対応
533	敵ではなく、仲間である
534	感謝の言葉をしっかり伝える
535	適宜コミュニケーションをとる
536	タイムリーな返信
537	日頃から情報共有をこまめに実施すること
538	適切なコミュニケーション
539	メールの回答は極力速やかに行う。具体的に詳細の説明を頂きたいときなどのみ電話で連絡する。そのほかの連絡事項はメールで行う。Day1 や中止時など注意が必要な Visit のスケジュールや、被験者についての共有事項は早めに連絡し、回答を得やすいようにしておく。
540	話しやすさ
541	院内状況の情報共有、プロトコルや手順等の共通認識など
542	情報共有、不安なことは早めに確認をとる
543	都合を伺うようにしている、なるべく連絡を取れる時間帯を１日３回は作る。
544	協力
545	なるべくメールの返信など、早めの対応を心掛けています。
546	報告・連絡・相談を密に行う。
547	こまめなコミュニケーション
548	SUM の説明などの事前準備の段階で、この部分の説明を入れてほしい、や　院内ではこのような流れを検討しているということを事前に CRA さんに共有し、SUM で CRA さんがされなくてもいい質問で困らないように配慮するなどしたことがあります。

549	情報共有を常に行っている
550	返信・返答を迅速にする。
551	自分がされて嫌なこと/嫌な言い方はしない、感謝の気持ちを持つ
552	CRC 未経験のため、今のところ特になし
553	依頼には可能な限り早めに対応する。こちらも早く対応してほしいこともあるので、お互い様でこちらも対応する。お礼や「申し訳ございません」という言葉をきちんと使う。
554	感謝の気持ちをきちんと伝える。思いやりのある一言を言う。
555	問い合わせに対するタイムリーな回答
556	施設側の状況を発信できるように心がけている。
557	何について困っているのかを伝えてからご確認いただくようにしている。
558	コミュニケーション、情報共有
559	こまめな連絡
560	会話を多くすること
561	品質を確保しながら治験を遂行することを最重要視し、お互いに協力したいと考えています。
562	CRA の立場を理解すること
563	相手の立場を考えて対応する
564	たまにメールの文面等に感謝の気持ちなどを添えること、依頼事項は可能な限り迅速に対応すること、常に穏やかな気持ちで行動すること
565	迅速な対応
566	CRC と CRA 間のコミュニケーション
567	対応いただいた際には感謝を伝える
568	理論的に、好意的に、協力的に
569	信頼関係を構築するため、敬意をもってやり取りする
570	手段は問わないが、コミュニケーションは大事だと思う
571	用件や要望は簡潔に。客観的な目線で話を進める。
572	丁寧な対応を心がけている
573	情報共有
574	相手を尊重した伝え方をするよう気をつけ、お互い気持ちよく試験を進められるように注意している。
575	迅速な対応。事前の確認。
576	タイムリーな対応
577	自分の要望のみを押し付けるのではなく、お互いに協力していくという姿勢を保つようにしている。
578	速やかな回答と思いやり
579	定期的なコミュニケーション
580	メールは簡潔に
581	コミュニケーション
582	疑問点があれば、メールや電話で問い合わせし、解決すれば感謝を伝えることを心掛けています。
583	情報の共有
584	信頼関係の構築
585	信頼関係の構築。
586	意思疎通
587	コミュニケーション

588	電話での協議を改めてメール送信し、相互誤認が無いように心がけている
589	高圧的な態度にならないようにしている
590	逸脱をしないよう、相談や被験者の進捗状況、先生の様子について情報共有すること。
591	報連相です
592	適切な（速やかな）対応
593	密に連絡をとり、質問されたことは、なるべくその日のうちに返事するように心がけています。
594	自分がすべき業務はしっかり行い、相手の立場にたって相談等の連絡をとるようにしている。
595	お互いさまを意識する
596	進捗促進への情報共有
597	感謝を伝える事、良好な関係を築く事
598	依頼事項の期日内対応
599	信頼関係の構築
600	同じ目標を持っている協力しあう立場であることを意識しています。
601	質問事項があればなるべく早く連絡する。依頼されたことは期限内に対応する。
602	感謝の気持ちを伝える
603	メールでやりとりを残す
604	コミュニケーションを図り、わからない点はすぐに CRA に確認し、担当試験が円滑にすすむように心がけている。
605	依頼内容に対してタイムリーに対応をすること
606	逸脱等、イレギュラーな対応が発生しそうなことがあれば、早めに相談する。
607	電話で話したことを文書化し関係者への認識を共有し意識を統一する
608	不明な点はタイムリーに解決し、問題が起きた際に相談しやすい関係を作っておくように心がけている
609	報連相、コミュニケーション等の充実化
610	情報共有
611	やっていただいた分こちらもやるようにしている。アプローチの難しい院内スタッフへの対応や患者さんへの謝罪などは請け負う分、モニターさんが医師面会をする時などに、こちらからは聞きにくいことや、押印対応をやって頂くなどしている。
612	早急な対応、メールの返信
613	お互い同じ目的に向かっているという意識を基にした会話。口調。
614	CRC の業務が多く提示された期限内にできなかったり、エントリーが思うように進まなかったり、誤った判断で業務を行い、迷惑をかけることもあるが、普段から良い関係を築けていれば、何かトラブルがあっても解決策を一緒に考えてくれたり、力になってくれます。 最後はやっぱり人間関係だと思うので、モニターさんの立場や業務を理解、尊重するよう心掛けています。
615	CRA の方が話しやすい関係を構築すること。
616	良好な関係性の構築
617	急ぎの依頼か、そうでないのかをはっきり伝える。
618	メールでやりとりの記録を残すようにしている
619	出来る限りコミュニケーションをとり、信頼関係を構築することを心掛けています。
620	お互いの業務範囲を知った上で、相手を思いやり行動、発言すること
621	円滑なコミュニケーション、業務の助け合い
622	タイムリーな連絡

623	報連相
624	上記までの回答と同様
625	懸念事項はタイムリーに連絡する
626	経験・年齢・短所長所・得意不得意・気が合う合わないは何処の誰とでも発生事である事を認識しておく。困りごとを悪口にしない。
627	感謝の気持ちをもって接する事
628	相手に伝えたいことが伝わり、ほしい情報が分かるような明確な質問を行うこと、迅速な対応を行うこと
629	すみやかな回答
630	早い段階での情報共有
631	CRA からの依頼は極力迅速に対応し、進捗促進・質の高い原資料の作成に尽力する事でお互いに目標達成に向けて努力する事。
632	お互いに業務の相談などが円滑にできるよう、協力が図れる姿勢で対応している。
633	お互いの業務内容を理解することで、どちらかに負担がかかりすぎないようにする。配慮する。
634	お互い嫌な思いをしない、コミュニケーションの仕方
635	こまめな連絡
636	試験開始前の綿密な問い合わせ
637	お互い相手の立場に立って無理なお願いはしないこと
638	情報共有
639	感謝の気持ちを忘れないようにしています。
640	連絡、相談、報告
641	依頼事項は速やかに行うよう心掛けている。
642	依頼がある時は、CRC 側の状況を伝えつつ、CRA の負担にならない範囲で依頼できるよう心掛けている。
643	その方を理解しようとする気持ち
644	電話で確認した内容は齟齬がないかメールで確認し記録に残している
645	・～すべき、～でないとダメ等の一方的な意識の押し付けをしない ・患者対応中のメールや電話、回答期限の短い返事の過度な要求は困ると言う事を明確にかつ感じよく伝える ・私はここに困っているということを明確にかつ感じよく伝える ・協働しようという意識で対応いただければ全力で CRC も答えることを明確にかつ感じよく伝える
646	丁寧な状況説明、確認依頼事項の明確化
647	コミュニケーション
648	何事も迅速丁寧に対応する
649	敬意をもって接するようにしています。
650	入社して間もないため、CRA と直接業務をしたことがありませんが、質問を受けたときは早急に回答をするように心がけています。
651	互いの認識のすり合わせ
652	現在直接的な関わりがございません。
653	迅速な情報共有
654	コロナ禍で施設訪問をしていない CRA さんが増えているせいか、施設理解が乏しいので施設状況を丁寧に説明するように心がけている。
655	相手の気持ちを考えた連絡

656	電話やショートメッセージだけで記録が残っているものは念のためメールで内容、決まった事をリマインドメールする事。
657	感謝の気持ちを伝える
658	雑談をし、フランクにやりとりができるような関係作り。
659	問い合わせ事項には迅速に対応すること。
660	お互いを思いやったコミュニケーションをとること
661	相手の時間をとらせないよう、電話をする際は端的に伝える。また、メールや電話でやり取りした事項はQA シートにて１つの資料にてすぐ確認できるようにしている。
662	相手の立場になって業務を考え、またこちらの業務内容も理解いただけるように説明していく
663	口頭での確認時にはメールも残す
664	可能な限り友好的に接する
665	協力し合うこと
666	施設情報の提供
667	対応して下さったことには感謝を伝える
668	信頼関係の構築
669	迅速に対応いただきたい内容は電話で一報入れてからメールで依頼するようにしている。
670	確認事項がある場合は、背景と確認したい理由を詳細に伝えるようにしています。
671	急ぎの要件については、進捗の連絡を細かく実施する。
672	相手が言いたいことをしっかり理解する
673	思いやり
674	期限までに依頼者回答が得られなかったり、間違った依頼者見解を伝えられ、結果的に施設責任を問われることもあり、先生からも CRA 様の質を問われる場面もありますが、相手の境遇や業務負荷も慮った対応を心掛けるようにしています。
675	メールへの早めの返信と依頼内容に対する迅速な対応
676	迅速な連絡
677	イラっとすることもあるが、誰でも新人の頃があると思い、あまり感情的にならないように心がけています。
678	対応をお願いしたいときは余裕を持って依頼する、CRA の知識不足を感じる時には教えながら説明する
679	メールで記録を残すことで言った言わなかったの責任転嫁がないようにしている。
680	思いやり、気遣い
681	密な連絡を行い、施設状況を把握していただく
682	丁寧な言葉・表現となるようにしている。
683	問い合わせをする際はできる限り調べてからわからないときに問い合わせをする
684	お互いに働きやすいように連絡を行うこと
685	エントリーに関する細かな状況の共有
686	適切なコミュニケーションの多さ。
687	施設のルール等をあらかじめ伝えておく
688	早めの確認・早めの対応を心がけ、時間に余裕を持って対応できるように心がけている。
689	施設側（被験者側）の視点が伝わるように共有する。
690	メールは速やかに返信するよう努めている
691	思いやりと責任

692	必要なコミュニケーションを適宜とる
693	やりとりは簡潔にし、状況に応じて連絡ツールを使い分けるようにしています。
694	より良い協力関係と円滑なコミュニケーションを心がけている
695	同じ試験に携わる者として試験の成功という共通目標のために協働しているチームの一員であるという意識。
696	コミュニケーションをしっかりとる事、迅速な対応。
697	思いやり
698	話しやすく対応する。
699	CRC の業務量が多すぎるのではないかと感じる。CRC の業務量を減らすことができれば余裕を持った対応・医療機関がすべき対応ができのではないか。 CRC の費用が出来高という考え方も気になる。治験依頼者から支払われる CRA/CRC 費用は妥当でしょうか。CRC 費用が少ないから、一人分の業務量が多いのではないかと感じる。CRA/CRC の費用と業務量に関して知りたい。
700	誤解のない表現
701	依頼されたことをきちんと対応することを心がけています
702	細かな連絡
703	本来 CRA がする箇所を最近していない CRA も多いため、お互い持ちつ持たれつであると認識しております。
704	コミュニケーションを密に取り合うこと
705	丁寧な対応、医師と CRA の間に入って円滑にコミュニケーションが取れるようサポート
706	何事も相談しあうこと、相手の立場に立って考えることを心がけています。
707	時間の有効活用
708	良好な関係性の構築
709	感情ある人間どおしであることを念頭に置き、相手を立てながら事を進めていくこと。
710	関係性の構築
711	円滑に業務が進められるか否かは、CRA のレベルにかなり影響されます。試験や GCP、疾患についての知識が乏しい方だと、こちらで先々まで準備して対応しないと PI や被験者様に迷惑がかかるため、始めに担当 CRA の力量を把握するようにしています。
712	治験実施時のパートで行うべき優先度が変わると思いますので、エントリーまでのタイミングであれば、いつまでになんの書類を準備する必要があるのかなどわかるようにやり取りをしています。質問をしても確認しますのまま回答がなく、期日直前に回答がありすぐにやってほしいということが多々あります。現場で働く CRC も人間です。子育てをしている人や事情があって早く帰る時もあります。CAPA の視点で動線を組むために QA 回答を事前に想定できる範囲で確認したり、実際の施設の運用を書類上で担保を取るためにはどうするかという相談も行っていますが、現場を知らない（カルテを見たこともない）CRA が非常に多くなっていると思います。CRC は被験者対応をしてデータを回収しています。データの向こう側に人がいることを理解して頂いて、要望を出して頂く必要があると思います。 可能な限り現場が想像できるように状況はお伝えするようにしていますが、それでも理解が及ばないこともあると思います。人を相手にしていることをお伝えするように心がけています。
713	全て。心がけのできない CRA がほとんどであるため、すべてにおいて心がけている。
714	プロトコル、医療現場の流れなど、全てにおいて理解が薄い CRA がおおいため、こちらがわかりやすく説明することを心がけている
715	なるべく早めに質問しておく
716	CRA には最初から何も期待しない（依頼者の伝書鳩と認識）

717	経験の少ない CRA に対し、気づきが増え成長できるようなコミュニケーションをとるようにしている。頑張っていただいていることにきちんと感謝を伝える。
718	問合せには速やかに対応する。EDC 入力は当日中に行う、情報共有、想定される疑義事項は予め伝える等、スピード感、等。
719	相手の状況を確認したり、期限を確認しておく。
720	報連相と感謝言葉
721	コミュニケーションを取り、試験を円滑に進めるよう関係作りに努めている。
722	情報共有
723	試験を円滑に進めるためにお互い思いやりを持つこと
724	心では当たり前にそれぐらいやれよと思っているが、いつもすみませんや助かりますとワザと褒める。CRC から褒められてない CRA が殆どだから、それだけでこちらへの当たりが柔らかくなる。
725	電話での連絡は最小限にする
726	相談ごとや確認事項がある際の時間は相手のお時間を頂くという姿勢
727	土曜日の電話は急ぎの用件のみにするようにしています。
728	コミュニケーションをとることを意識する
729	相手の望むことを理解すること，しかし線引きはしっかり行うこと
730	コミュニケーションをとる
731	常にお礼や感謝の言葉を発信している。
732	感謝
733	円滑なコミュニケーションを心掛けています。
734	何かあればすぐに相談すること
735	こまめに報告、連絡を行う
736	円滑なコミュニケーション、迅速な対応
737	情報共有
738	迅速なやりとり、細かな情報共有など
739	配慮とコミュニケーション
740	一つの治験を実施するチームとしての意識
741	試験について困ったことがあれば、CRC 側だけで悩まず、情報共有をするようにしている。
742	双方の立場とすべきことを理解して対応する
743	簡潔に状況説明できるように心がけている。
744	信頼関係の構築
745	まだ経験が浅いため、特記事項なし
746	メールだけでなく電話でのやり取り。日々の業務進捗の報告。
747	・情報の共有 ・業務内容について、可能、不可能な事の明確化 ・話しやすい雰囲気を作る
748	信頼しあう
749	こちらの状況を共有する
750	感謝の気持ち忘れないこと
751	CRA の長所短所を理解して受け入れること。
752	相手に対しての理解すること。敬う言葉。

753	伝え方（メールがいいか、電話がいいか）や、伝えるタイミングを考えて対応する。お互い様を忘れない。一緒に試験を成功させるという目的を忘れない。
754	被験者への安全と正確なデータ収集のためのプロトコル遵守に関しては共通の目的だと思うので、担当 CRA 様には機会があれば確認している。オンサイト SDV が再開してから短時間でも直接やり取りした方がスムーズな関係を作りやすいと感じている。
755	コミュニケーションを密にとること
756	電話で話した内容をメールでおこして記録する
757	責務を明確にする。問い合わせ内容の限定
758	お互いの業務範囲の理解が信頼関係構築に必要だと思います。
759	タイムリーなレスポンス
760	感謝
761	レスポンスは 2 営業日以内に、都度感謝の言葉を伝えるようにしている
762	気遣いや感謝しつつ、治験を適切に運用できるように同じ方向を向いて業務（仲間意識）できるように意識しています。
763	不明点などをうやむやにせずコミュニケーションを心掛ける。
764	お互いの立場を理解し、協力し、症例登録の促進や医師関連の対応をしていく。
765	信頼関係の構築
766	何より、好印象なコミュニケーションを心掛けている。治験に対する理解が深くても、高圧的だったり極端に少ないコミュニケーションしかとらない CRC／CRA とは、結果的に業務が滞ったり問題が起きることもあった。お互い気持ちよく業務に従事できるのが、試験を円滑に進め、被験者保護にもつながると考える。
767	適切なコミュニケーション
768	早めのメール対応
769	感謝の言葉を忘れない
770	CRA が何を考えているのか常に考えること。
771	メールは簡潔に、電話は雰囲気を重視しています。
772	・計画書の理解を深め、不明点を明瞭簡潔に質問するよう心がけている ・電話連絡で確認した事項は、認識齟齬がないか、メールでも送るようにする ・1 例目の来院は突然の電話連絡も考えられることから事前にお伝えする　など
773	メールよりは電話でコミュニケーションをする。メールでは伝わらない事が多い
774	疑問点の確認
775	依頼された業務の速やかな遂行、時間厳守
776	お昼ごはんの時間 12 時～13 時の電話連絡は避ける。
777	好意的なコミュニケーション
778	認識の齟齬が起らないよう、すり合わせを大事にしている
779	可能な限り前もって色々と確認するようにしています
780	CRA の業務や立場などをなるべく理解しながらコミュニケーションをとること
781	上記にも回答していますが、信頼関係につきます。互いの立場を理解し、よく協議すること（協議することを苦と感じない間柄の構築）だと思います。